1. Course Description

柔道整復師は医療施設、介護施設において高齢者と接する機会が多く、その身体的特徴として筋骨格系、持病、精神的機能等を十分に理解する必要がある。これら知識を生かし高齢者が転倒などにより陥りやすい外傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）を再確認し防止対策を考える。また、介護を必要とする高齢者の身体機能の低下、認知機能の低下を理解し、その予防と対応を学びます。授業では、ペアワークを実施し第11～14回授業では介護予防エクササイズを実際に体験し実習します。この授業はDP4に相当し、これまでに学んだ知識を総合的に生かした内容となります。

2. Course Objectives

高齢者の身体的特徴である、筋骨格系、持病、精神的機能を理解し説明できる。高齢者が陥りやすい外傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）を理解しその予防対策（転倒予防）を指導、実施できる。介護認定を理解し介護度による要介護者の身体的特徴を理解し、介護予防対策を指導、実施できる。

3. Grading Policy

期末試験90%、授業評価10%により評価します。期末試験に向けまとめ資料の配布、演習問題を行いその解説を行います。授業評価としては、出席状況、授業への取り組み状況を評価します。最後の授業にて全体に関するフィードバックを行います。

4. Textbook and Reference

Textbook

公益社団法人全国柔道整復学校協会 『柔道整復師と機能訓練指導』 南江堂 ISBN:978-4-524-25759-1

5. Requirements(Assignments)

高齢者の身体的特徴を把握するため、指定した教科書を授業回の題目に合わせて予備学習を行ってもらいます。また、柔道整復理論に基づいた外傷の知識を再確認しますので、1～2年次の学習内容を復習して挑んでもらいます。

6. Note

7. Schedule

- [1] 高齢者とは
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [2] 高齢者の特徴①(運動器)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [3] 高齢者の特徴②(循環器、消化器、神経系、内分泌他)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [4] 高齢者の特徴③(心理その他)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [5] 高齢者の病気・持病①(高血圧、糖尿病、呼吸器疾患、痛風他)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [6] 高齢者の病気・持病②(認知機能低下症)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [7] 高齢者の外傷・障害と予防①(骨折、脱臼)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [8] 高齢者の外傷・障害と予防②(軟部組織損傷)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [9] 健康保険法と介護保険法について(介護支援相談員と社会福祉主事)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [10] 介護認定とケアマネージメント
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [11] 介護予防①(認知機能低下予防)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [12] 介護予防②(下肢機能低下予防・転倒予防)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [13] 介護予防③(上肢機能低下予防)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。
- [14] 介護予防④(体幹機能低下予防、巧緻性機能低下予防)
予習: 授業内容に従って教科書で事前学習します。
復習: 配布テキストに従って授業で進んだ内容を復習します。

[15]

期末試験、解説

予習:ここまでの授業内容を復習し試験準備します。
復習:試験内容に沿って更に復習します。